

6月定例議会から



一般会計補正予算

既定予算の総額に4、924万6千円を追加、44億1、924万6千円としました。

歳出の主な内容は学校給食用低温貯蔵庫購入費に170万円、パイプハウス建設費補助金407万8千円、消防費・小型動力ポンプ付積載車購入費に、1、720万円、同車庫新築工事に787万5千円、教育費・児童

国保特別会計補正予算

事業勘定の既定予算の総額から1、192万9千円を減額し、7億4、463万9千円としました。

歳出の主なものは保険給付費2、630万7千円の減額、老人保健拠出金1、501万5千円の追加です。

平成14年第4回定例議会は、6月11日から18日までの期間で行われました。一般質問は13、14日に行われ、10人の議員から質問が出され、村の重要な課題について活発な議論がされました。議案審査

は18日に行われ、25の議案について慎重に審議がされ、原案どおり可決されました。今議会に提出された各議案の概要は次のとおりです。(紙面の都合で内容は省略されています)

老人保健特別会計補正予算

既定予算の総額に1、935万7千円を追加、8億6、984万7千円としました。

歳出の主なものは一般会計繰出金1、918万7千円の追加です。

介護保険特別会計補正予算

既定予算の総額に1、179万8千円を追加、3億7、055万5千円としました。

歳出の主なものは、介護給付費準備基金への積立金1、179万8千円

の追加です。

国保条例の一部を改正する条例

この条例は、国民健康保険税、及び介護納付金課税額の税率等が改正されました。

それぞれの経費を賄うため、一般被保険者の1人当り保険税を59、418円、介護納付金を15、989円とすることとしました。

使用料条例の一部を改正する条例

いたてスポーツ公園の管理棟・コミュニティルームの使用料を定めるための条例が改正されました。

村税特別措置条例の一部を改正する条例

この条例は、租税特別措置法が一部改正されたことに伴う条項の変更と適用期限を延長するため

の条例の改正です。

介護予防拠点施設建設工事請負契約

6月12日、8社による指名競争入札の結果、株式会社英工務店が落札したので、その請負契約について議決を求めるものです。契約金額は5、775万円です。

報告

一般会計繰越明許費繰越計算書

平成13年度一般会計予算のうち、繰越明許費として平成14年度に繰越した予算は、民生費で6、784万5千円、農林水産業費で4、100万円、土木費で2億5、965万円、教育費で146万円です。



村長村政報告

(紙面の都合で、内容は省略してあります。)

観光

観光拠点として、野手上山、花塚山周辺に整備を進めてきた遊歩道が完成したのを記念し、野手上山では県知事を招いての記念登山や植樹、地元小宮行政区による各種イベント等も行われ、約570人もの参加者で賑わいました。

また、花塚山では地元上飯樋地区の住民による、安全祈願祭が行われまし



▲県知事も参加した野手上山登山

た。

さらに、5月11日には、村民の森あいの沢において、俳人、黛まどかさんを囲む「園遊会」を開催しました。

当日は、選者、黛まどかさんのほか、遠くブラジルからの参加者を含め、全国各地から多くの方々の出席をいただきました。

表彰式

5月9日村表彰条例に基づき平成14年度飯館村表彰式典を公民館において執り行い、村政伸展と民生の安定のために、ご尽力いただいた方々11名を顕彰しました。

市町村合併

合併特例法の期限を平成17年3月に控え、待ったなしの状況の中で議論がされています。市町村合併問題に対する村の基

本方針としては「将来とも、地域住民が豊かな暮らしが営まれる地域社会の建設」が目的であり、市町村合併はこれを実現する手段のひとつとして、捉えているところです。本年度は、意見交換・意見集約活動の取り組みとしまして、「ディベート方式」による討論会を行います。さらに、方部別の地区懇談会を開催するなどして、12月議会頃までには、村行政としての一定の方向性を出し、議会の場で議論をしていただきたいと考えています。



▲ディベートについて学んだ勉強会

村まつり

6月7日、いいたて村づくり推進協議会において、今後の村まつりの在り方について協議しました。その結果、今年度から、春は「愛の園遊会」、夏は夏まつりとして「牛肉フェスティバルPAR T II」、秋は秋まつりとして「収穫感謝祭、JAまつりと総合文化展」、冬は「新春村民の集い」と年4回の村まつりを了承いただきました。

なお、夏まつりの一つとして実施してきた24時間マラソンについては、8月24・25日の開催となることから、結果的に夏まつりと切り離しての開催となります。

農業

田植え期間中低温に見舞われたため、心配するほどではありませんが、生育が少し遅れています。霜害については、4月

下旬から5月初めに連続して遅霜がありました。が、葉たばこ定植の初期でもありましたので、大きな影響もなく生育は順調と思われまます。

水田農業経営確立対策

村の生産調整のガイドラインは、従来分と緊急拡大分を合わせて前年と同様の480鈔の割り当てになっています。

各行政区を通じて提出された転作計画の集計結果、転作面積は542鈔となり、超過見込みは62鈔、率にして12・8%となる見込みです。このため、現在JAそうまを通じて55鈔の地域間調整をして頂くよう申し込みをしています。

また、13年度における、超過達成にかかる各種の助成金について、5月24日の水田農業経営確立対策推進協議会において協議した結果、野菜、花卉

の50%以上の団地形成に
対する助成として10%当
たり3万円上乘せ、村の
転作振興作物として、い
んげん・ブロッコリー・
そば・かぼちゃ・リンド
ウに、新たにレタスを追
加した6品目に対する助
成措置、水田農業を効率
良く推進するため、「中
山間直接支払制度」の航
空写真システムと併用で
きるソフト等の整備等に
承認を頂いています。

中山間地域等 直接支払制度

今年度で3年目に入り、
集落協定の内容の一部見
直しを、各集落代表者会
議で協議しました。

内容は、各集落へ配分
していた交付金から1割
を、事業推進協力費とし
て村が預かり、中山間地
域の農業振興及び村民所
得の向上につながる施策
を講ずるため、各集落に
おける新たな農業展開の
ための調査研究、交付対

象農地の管理状況調査、
会計事務等の指導、優良
先進地の調査研修等の実
施等に使用して頂くこと
で協議しました。

新山村 振興事業

昨年度より県、国と新
規認定の協議を進めてき
ました。交流促進施設で
ある「きこり」の増築と
野菜集出荷施設を主とし
て、総額約5億4千万円
で計画を進めてきました
が、先般、県より総事業
費4億円で計画の見直し
を行い、再度協議するよ
う指示を受けています。
このため、事業種目を他
の補助事業への振替、又
は縮小等を踏まえ検討に
入っていますので、国と
の協議が整い次第認可さ
れるものと思います。

畜産

昨年の9月に発生した
BSE、牛肉偽装事件等
により、子牛価格・枝肉



▲生産者による和牛の集い

価格が低迷し、畜産関係
者には大きな打撃を受け
ています。そのため、村
では牛海面状脳症被害対
策、家畜個体識別緊急整
備、飯館牛安全・安心キャ
ンペーン等の補助事業を
実施し、畜産関係者の経
営安定のため、事業を展
開してきました。

なお、子牛価格、枝肉
価格とも徐々にではあり
ますが、回復の基調にあ
ると感じています。

また、飯館牛の早期安
全性を図るため、家畜個
体識別緊急整備事業によ
り、3、343頭の耳標

装着を年度内に完了する
ことができました。

振興公社

5月27日の理事会で、
13年度の決算状況につい
て報告されました。

肥育事業については、
損益計算書によると、棚
卸、減価償却費、借入金
返済を含めて272万1、
981円の赤字決算のよ
うです。

受精卵移植事業につい
ては、移植件数320頭、
採卵回数87回と例年を大
幅に上回っており、受胎
率は52・2%と高い受胎
の状況になっています。

ほんの森事業について
は、対前年比95・1%の
売上で、購買者の人数も
減少しているようです。

活性化施設の運営状況
については、ステークハ
ウスは、昨年9月に発生
したBSE問題をきっか
けに大幅な客数並びに収
益の減少となり、経営が
深刻な状況になってしま

福祉

いました。対応策として、
メニューの見直しやクロ
ズタイムを設けるなどを
進めながら、営業活動の
強化と経営の合理化に努
めているとのことです。

また、きこりについて
も、BSE問題は少なく
ならず影響を受けており、
月によって変動はありま
すが15%から25%の減少
となっています。

4月8日、学童保育
「つくしんぼハウス」の
開所式を村公民館多目的
集会所において、保護者
同伴のもと行い、7人の
児童が元気に入所しまし
た。引き続き、働く保護
者の子育て支援を推進す
るため、積極的に事業の
PR等に努めたいと思い
ます。

村の健康と福祉、そし
て交流の拠点施設として
建設を進めてきた中山間
地域総合整備事業「活性
化センター（いちばん館）」

の開所式を、4月15日同
施設で行いました。

現在、同施設には社会
福祉協議会及び在宅介護
支援センター並びにNP
O担当の職員が勤務をし
ています。

教育

学校教育について、今
年4月から完全学校週5
日制となり、土日が休み
となりました。

そのねらいは「ゆとり
を持って、子供たちに生
きる力をつけること」で
あり、学校だけでなく家
庭や地域でも役割分担し



て子供を育てていこうと
いうことです。

従って親達にも、家庭
における子供たちの学習
に目を向けてもらい、地
域の各種団体の方々にも
子供たちのかかわりをも
っていただき「生きる
力」をつけていただきた
いと考えています。

現在、「やすらぎ」に
宿泊しながら通学をす
る合宿通学も、自立心、
我慢強、親のありがたみ
がわかる事業として実施
しています。

一方、指導内容の3割
削減、授業時数の大幅減
少により児童生徒の学力
の低下が懸念されている
ところです。

教育委員会としては、
各学校にその対策をとる
よう指導しており、それ
ぞれ努力しているところ
です。さらに、村として
は学力向上対策として、
村学校教育指導員6名を
委嘱し、授業研究の指導
や計算や漢字練習の実践

の指導など、さらに家庭
学習の啓発にも努めてい
ます。

飯樋小改築

設計を郡山市の清水公
夫研究所に決定し、14年
度中にワークショップを
行い実施設計の完成、そ
して15年度建築と考えて
進めています。

村の基本的な学校建築
の方針としては

- ・木のぬくもりのある、
子供にとって暖かみの
感じられる学校
 - ・子供にとって楽しいと
ころ、子供の成長に見
合った学校
 - ・子供と教師のふれあい
が深められる学校
 - ・地域の活力の拠点とし
ての学校
- 等を掲げて進めていると
ころです。



▲改築予定の飯樋小学校南校舎

社会教育

「第12回スポーツ少年
団対抗はやま湖駅伝」を
4月29日に大倉行政区の
ご協力を受けて実施しま
した。参加チームは、昨
年と同数の28チームで、
遠くからは今年も宮城県
柴田町からの参加があり
ました。

IT講習会については、
県緊急雇用対策事業の補
助を受け、昨年に引き続
き、5月7日より開講し
ています。また、講座以

外にも家庭訪問によるサ
ポート事業を行っており、
現在のところ好評を得て
いるところです。

今年度第1回目のふれ
あいコンサートを、5月
27日あいの沢民家園を会
場とし、『泡盛・島歌・
民家園 大島保克コンサ
ート』を開催しました。

若妻の翼パートⅡです
が、14名の団員が内定し、
今後事前研修等を行い9
月の出発を迎えたいと考
えています。



▶民家園で行われた
ふれあいコンサート